

従来型PDCの現状と課題

PDCは、地盤の間隙水圧を動的貫入試験によって測定することで、地盤の液状化強度の評価を可能とした原位置試験技術です。打撃時に発生する水圧を測定することで土質の推定も可能ですが、盛土地盤など地下水位が低い場所では、地下水が浅い土質が判定できないなどの課題もありました。

現状 打撃時に発生する**水圧の大小**で土質を識別

問題点 地下水がない**道路盛土・河川堤防・谷埋め盛土**等の土質判別ができない

課題 **地下水の影響を受けないPDC**の開発

地盤技術と物理探査の融合により
地下水水位が浅い土質識別を可能とする新しいPDCの開発

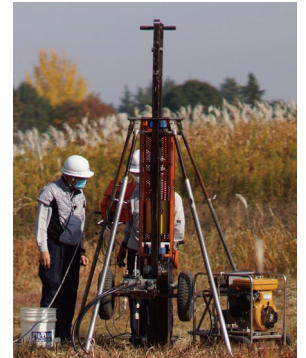
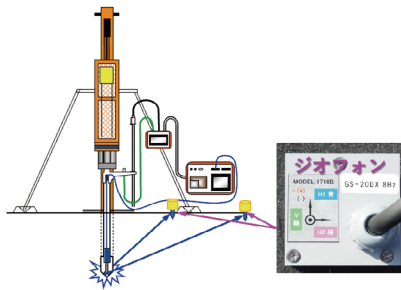
製品の概要

サイスミックPDCは、従来型PDCの課題を解決するため、地下水に影響を受けずに土質の識別を可能とした新しいPDCです。

動的貫入試験時のコーンの貫入量(N値)と打撃振動(S波速度)を計測することで、地下水水位が浅い地盤においても土質の識別を行うことができます。

◆サイスミック PDC

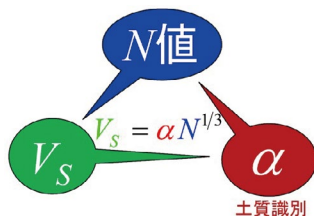
貫入量(N値)と打撃振動(S波速度)
を計測して**土質識別**



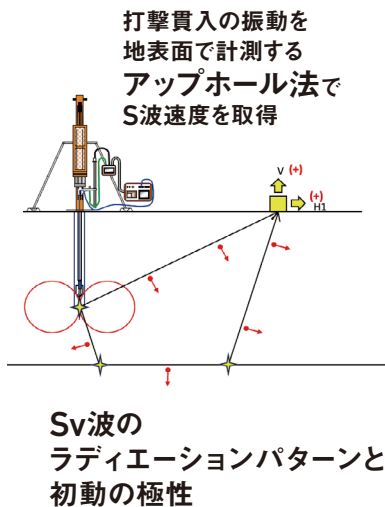
製品の特徴・仕様

ラディエーションパターンと初動読み取りやレイトレシング解析の自動化実現により作業の軽減を実現しました。地盤強度と硬さを測定することにより、土質を識別推定します。

地盤の強度(N値)と
硬さ(S波速度)の関係から
土質を識別(αの推定)



マジックトライアングル



低コストで高精度な液状化評価

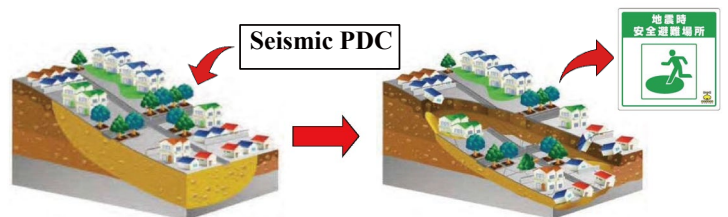
地質・地盤の専門家として業界をリードする当社ならではのノウハウにより製品化を実現しました。簡易ながらも高精度なアウトプットが期待できます。自治体から地盤対策費用・液状化対策費用として助成金(最大35万円)を受け取ることができます。是非、この機会にご利用ください。

・大規模盛土造成の滑動崩落の防止対策

自治体(地方公共団体)

二次スクリーニング・液状化対策助成

・**低コストな最新の地盤調査技術**によって
簡易でありながら高精度なアウトプットの提供



[出典]大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説,1編 変動予測調査編, p1-3, 平成 27 年 5 月.
<https://www.mlit.go.jp/common/001089011.pdf>